

校長挨拶

校長 藤原 淳一



宮古恵風支援学校は「はまゆり学園」に入所する児童生徒の教育を担うために、昭和46年に開設された崎山小学校、崎山中学校はまゆり分校を前身として、養護学校教育義務制施行の昭和54年に宮古市立はまゆり養護学校として開校したときから歩みを始めました。平成21年4月に現在の校名となり今日に至っております。平成30年には創立40周年を迎えています。平成12年に県立に移管するまでは宮古市立の学校であったこともあり、宮古市とは結び付きが深い学校です。平成25年からは宮古市立学校給食センターから給食を配食していただいております。

三陸の中心都市である岩手県宮古市の北部、崎山（さきやま）地区に位置し、近くには、三陸復興国立公園にある景勝地の浄土ヶ浜、本州最東端に位置する鮭ヶ崎灯台、国指定史跡の崎山貝塚などがあり、森、山、海といった豊かな自然や、歴史・文化に恵まれた環境の中にあります。

「**明るく 強く 豊かな心**」の校訓のもと、今年度は小学部17名、中学部13名、高等部46名、計76名の子どもたちが、明るく元気に学校生活を送っています。

将来の自立と社会参加を目指し、以下の三つの保証を大切にして、小学部から高等部まで一貫性を重視した教育を進めています。

校訓

明るく 強く 豊かな心

三つの保証

安全・安心の保証

学びの保証

進路の保証

本校では地域の小学校及び中学校との交流籍を活用した交流及び共同学習の積極的推進や、崎山小学校や崎山中学校との交流学習も特色の一つとなっております。また、地域文化を学ぶ姿勢や地域に貢献できる学校づくりを推進し、運動会における全校踊り「鮭だ、ハナマガリ」の披露、鮭稚魚放流壮行会参加、地元崎山地区や宮古駅前での花壇整備などに取り組むとともに、地域の特別支援教育のセンター的機能を担い宮古圏域の特別支援教育の発展に努めております。これまで、地域の方々や関係機関の皆様からのご理解とご支援をいただきながら、今日まで伝統を積み上げて参りました。今後

も本校の使命を果たすべく、地域や関係機関と連携をさらに深めるように努めていきます。

復興教育についてもこれまで通り力を注いでまいりたいと思います。これまで全国の皆さまから多くの心温まるご支援をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

今年度も学校ホームページでは、子どもたちの笑顔や元気いっぱいな活動の様子を発信してまいりますので、これからも本校の活動の様子をご覧いただき、引き続き応援をお願いいたします。

